

令和7年7月9日(水)に2学年自然科学コース36名が富山県総合教育センターで行われる理科実験実習(センター実習)に参加しました。

開講式の後、生徒は午前、午後で物理・化学・生物・地学から2分野を選択して実験を行いました。各分野の実験内容は以下の通りです。

- 【物理実習】 光の回折と干渉を利用した光ディスクのトラックピッチの測定、可視光線の波長の測定、空き缶分光器の製作
- 【化学実習】 燃料用アルコールの分留と定量、食品中のビタミンCの定量、水に溶解している各種イオンの定量、医薬品の合成と定性分析
- 【生物実習】 カエルの反射行動の観察と解剖、血球・筋肉の観察
- 【地学実習】 微化石の採集と標本作り、アンモナイトの研磨と内部構造の観察

物理班は空き缶を用いて白色光を分解し虹色の光にする実験、化学班はハムや緑茶に含まれるビタミンの抽出、医薬品の特定の成分を抽出する実験、生物班はウシガエルを実際に解剖し体の構造や血球の観察、地学班は砂の中に混ざった微化石を採集して標本作りなど、どの実験も学校ではなかなかできない実験であり、貴重な体験となりました。この行事は自然科学コースとして最初の活動であり、学校で学習した内容と、身近な現象との関係性を知り、日々の学習の主体性を育む良い機会となりました。

